

科目名	日本語3	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	佐々木 香織		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-01-A-1-150009	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	日本語1に引き続き、より難易度の高い文章を読めるようにして、専門科目を学ぶ上で必要な文献を読み理解する力をつけることを目指す。文献に限らず、映像メディアなども利用して総合的な情報リテラシーを高めることを目指す。（日本語が母語でない学生が対象） 国際社会に必要な知識を身に付ける。 予復習に必要な時間数→講義科目は2時間ずつ。語学演習は1単位につき、30分ずつ。				
学修到達目標	学生のレベルが同じでない場合もあるので、各自で立てた目標に向けて、できるだけの支援をします。				
実務経験との関連性	国際交流基金シドニー日本人文化センターでの教員研修や講座運営などの経験を活かした日本語指導				

授業計画	
第1回	レベルチェックテスト
第2回	文学作品を読む1（受講生と相談して決めたもの）
第3回	文学作品を読む2（受講生と相談して決めたもの）

第4回	文学作品を読む3（受講生と相談して決めたもの）
第5回	文学作品を読む4（受講生と相談して決めたもの）
第6回	論説文を読む1（学生と相談のうえ決める）
第7回	論説文を読む2（学生と相談のうえ決める）
第8回	論説文を読む3（学生と相談のうえ決める）
第9回	論説文を読む4（学生と相談のうえ決める）
第10回	小テスト
第11回	学術書の読解1（学生の専門に応じて決める）
第12回	学術書の読解2（学生の専門に応じて決める）
第13回	学術書の読解3（学生の専門に応じて決める）

第14回	学術書の読解4（学生の専門に応じて決める）
第15回	学術書の読解5（学生の専門に応じて決める）
第16回	期末テスト（11回目以降に読んだ文献）

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	予習2時間程度。分からない言葉の意味を調べておく。
【復習】時間・内容	復習2時間程度。授業中の分からなかった言葉について調べておく。関連する文法項目を復習するなど。

成績評価	
評価基準・方法	評価の目安：定期試験50%、授業態度（出席も含め）50%
フィードバック方法	レポートは添削後返却します。テストは希望があれば、採点后解説して返却します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	特になし(参加の学生と相談してきめます)
受講上の留意点等	授業に参加するだけでなく、事前に予習が必要です。たくさん書いたり読んだり話したりします。希望に応じて、日本語能力試験の勉強や、専門に関わる日本語の指導も行います。積極的に要望を出してください。
JABEE	